

# 農業現場の気候変動対策報道と脱炭素推進コンソーシアム「みどりGXラボ」

## ▶ 株式会社日本農業新聞

【住所】〒110-8722 東京都台東区秋葉原2-3 【TEL】03-6281-5881  
 【URL】<https://www.agrinews.co.jp>

緩和適応  
分野

## 活動概要

農業の現場では、猛暑による農作物の品質・収量低下、作業中の熱中症増加など、気候変動の影響が深刻化しています。日本農業新聞は国内唯一の日刊農業専門紙として、農業への影響の実態や対応に苦心する農業者の声を社会に広く発信。実践可能な適応策や緩和策を継続的に紹介し、農業者の課題解決に努めています。

2024年には、農業の脱炭素化や環境負荷低減を啓発するコンソーシアム「みどりGXラボ」を創設しました。適応・緩和策に関するオンラインセミナーや交流イベントを毎月無料で開催し、学びと仲間作りの場を提供。農業の現場と企業とのマッチングも支援するなど、多様な主体の連携で「持続可能な食と農」の実現を目指しています。

## 《講評》

農業は適応分野で最重要視されまた緩和にも貢献できる分野です。動き始めた気候変動を受け農業での知恵の結集や情報の素早い伝達は日本の食を支える上で重要であり、当新聞による全国の農業現場の集中的かつ多角的な取材やデジタルを含む発信の姿勢が大いに評価されます。また新たなコンソーシアムの発展も期待される。



さまざまな品目の適応策を紹介する  
 「暑さに克つ」は、2024年から  
 100本以上の記事を掲載



多様な立場の会員が参加する「みどりGXラボ」の交流イベント



LINEを使った調査報道  
 「農家の特報班」では、気候変動の  
 食や農業への影響をアンケート

